

2026年度アドバイザリーグループの活動計画

アドバイザリーグループ(AG)

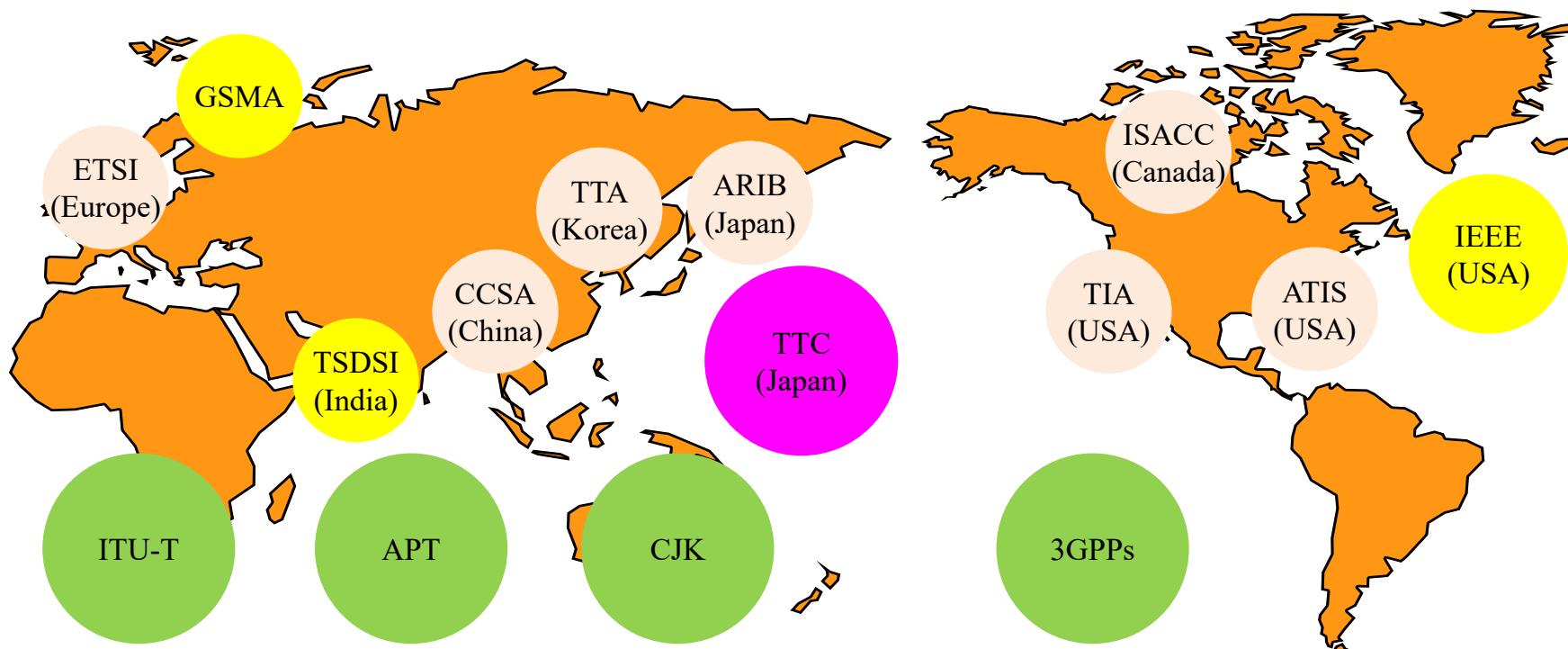
1	国際連携AG
2	技術調査AG

国際連携AG

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名 (TSAG対応TF, APT-WTSA対応TFを含む)	国際連携AG (TSAG対応TF, APT-WTSA対応TFを含む)	1/3
企画戦略委員	神保 光子(NEC)	登録委員数 8名(TSAG-TF:16名)
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダ	リーダ 山本 浩司(NTT)、サブリーダ 本堂 恵利子(KDDI)	担当するSG、WP等 TSAG, APT/ASTAPなど
活動の目的・意義 ・めざすゴール	標準化活動における国際連携を強化するため、TTCの標準化戦略を国際的視点から検討することを目的とする。現在の主要検討対象組織はITU-T (TSAG会合)、GSC(グローバル標準化協調機構)、CJK、APT/ASTAPおよびETSI	
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	・専門委員会との連携 ・カバーすべき範囲が広範	
関連のSDGsゴール	              	
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> 上記会合への対処方針を策定する他、会合にも適宜参加し、入手した最新情報をTTCの標準化戦略の立案に役立てる。 WTSA-24の結果を受け、ITU-Tの新会期における新規研究課題および体制構築に貢献する。 特定組織とのより密な連携が望ましいと判断された場合や専門委員会等から要請があった場合にはMemorandum of Understanding(MoU)を締結する。 国外団体等との意見交換・情報交換を密にし、グローバルな標準化動向に関する情報収集等に努める。 	別紙参照
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T(TSAG会合): ITU-Tの新会期における新規研究課題、体制構築、産業界の参加促進等の議論を活発に進めている。 GSC: サステナビリティ、デジタルトランスフォーメーション等を基にした世界標準の在り方を議論し、その上でメタバース・XR等に関する技術標準に関わる継続的な連携を呼びかけている。 CJK: バーティカルを意識したITS等の新規WGの設立を模索している。 	

Strategic collaboration with other SDOs/Forum



これらの内、国際連携AGでは、特定技術を扱う専門委員会で対応しているもの以外をカバー！！

Forms of collaboration	Examples
Participation	APT/ASTAP
Core member	CJK, GSC, 3GPPs
MoU/LoI	ITU-T, ETSI, IEEE, TSDSI, GSM, etc

中期標準化戦略(2025年度重点取り組みと活動報告)

専門委員会・AG名 (TSAG対応TF, APT-WTSA対応TFを含む)	国際連携AG	2/3
--	--------	-----

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(5月および1月)に向け、ITU-T新会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けた国内議論継続 APT/ASTAP(5月)への課題提案と成果ドキュメントへの貢献 GSC会合(時期未定)、CJK会合(10月or11月)におけるTTCの戦略報告、新規トピックスの寄書による貢献、動向把握・議論推進 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> 上記に向け、各SG役職者との連携強化 			
主な活動項目	概況指標	2025年度目標(当初計画時)	2025年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	TSAG(3件)、APT(1件)、GSC(1件)、CJK(1件)	TSAG(2件)、APT(1件)、CJK(1件)	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(5月、1月)に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力をを行う APT/ASTAP(5月)に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力をを行う CJK19会合およびGSC24会合に参加し、TTCの最新活動の報告、重点テーマに対するTTC寄書発表を行う GSC24はTTC/ARIBがホストとして会議運営を行う予定(未決定) 	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(5月、1月)において、日本対処方針案策定 APT/STAP会合(5月)において、日本寄書の審議、ならびに日本対処方針策定 CJK19会合に参加し、TTCの最新活動の報告、Quantum、IOWN、メタバース等に関するTTC内の活動報告を実施 GSC24は今年度は未実施 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー			
	記事投稿、講演会	<ul style="list-style-type: none"> TSAG会合報告(1回) GSC-24会合報告(未定) CJK19会合報告 		

中期標準化戦略(2026年度重点取り組みと活動予定)

専門委員会・AG名 (TSAG対応TF, APT-WTSA対応TFを含む)	国際連携AG (TSAG対応TF, APT-WTSA対応TFを含む)	3/3
--	---------------------------------------	-----

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(時期未定)に向け、ITU-T新会期における新規研究課題、体制構築およびWTSA決議、Aシリーズ勧告の制改訂に向けた国内議論継続 APT/ASTAP(5月)への課題提案と成果ドキュメントへの貢献 GSC会合(時期未定)、CJK会合(2027年予定)におけるTTCの戦略報告、新規トピックスの寄書による貢献、動向把握・議論推進 		
新テーマ	特に無し		
関連する専門委員会または外部組織との内容	上記に向け、各SG役職者との連携強化		
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T TSAG会合(時期未定)に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。 APT/ASTAP(5月予定)に向けて、日本対処方針案策定、日本寄書案作成への協力を行う。 CJK20に向けた会合準備 欧州INSTARとのMoUに基づくジョイント会合の検討 	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:
④ プロモーション 普及推進	セミナー		
	記事投稿、講演会		

技術調査AG

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

技術調査AG

1/3

企画戦略委員

神保光子(NEC)

登録委員数

8名

委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダ

リーダー 斎藤壮一郎(沖電気) サブリーダ 神保光子(NEC)

担当するSG・WP等

なし

活動の目的・意義
・めざすゴール

- 公的標準化機関等で策定されたもの(デジュール標準)の以外、民間組織(フォーラム、コンソーシアム等)により自主的に策定された標準(フォーラム標準)の調査を行う。
- 世界の主要なフォーラムや新規に設立されたフォーラムの活動を調査分析し、今後のTTCの標準化活動領域の検討に役立てる。
- 分析結果を報告書としてまとめ、TTCのホームページに掲載し、広く一般にもアピールする。

活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

- AGメンバーの確保とメンバーの継続的な活動
- 新たに調査に加えるべきフォーラムの選定と既存フォーラムの調査必要性の見識不足
- 各専門委員会との情報交換と連携

関連のSDGsゴール



標準化方針

- 本AGは調査活動のみであり、標準化活動は行わない。
- 最新のフォーラム標準化動向の調査活動により、今後のTTCの標準化活動の一助となるよう間接的に寄与する。

添付の各フォーラムとTTC専門委員会との対応表を参照

国内外の標準化団体等の動向

標準化団体の動向を調査し、個別調査表にまとめる。
フォーラム調査報告書を作成する。

TTC専門委員会との関連(1)

フォーラム名	ICT活用 アプリケーション				プラットフォーム			プロトコル・NW運営管理			アーキテクチャー				トランスポート・ アクセス・エリアNW						
	デバイスマルチ	マルチカート	コツドネク	BSG	IoTスマート	AI活用	セキュリティ	トネツ	信号制御	網管理	番号計画	Vision	Network	3GPP	網マネ	移動通信	IOWN GF	電磁環境・ 伝送網	網アクセス	光ファイバ	IoTエリア
5GAA		●											●								
6G-IA		●					●						●	●	●					●	
AIA																					
AECC		●																			
AIRA						●								●							
AOM	●																				
Autoware		●																			
AVCC		●																			
BBF					●												●		●	●	
Bluetooth SIG																					●
C2PA	●						●	●													
Catena-X		●			●																
CCC							●														
CSA								●													●
DIF							●														
DTC	●				●																●
ECHONET																					●
Edgecross					●			●													
EnOcean					●																●
Ethernet Alliance																					
FCIA																					
FIDO								●													
FIWARE						●															
FMF							●														
Gaia-X		●			●																
GSF																					
GxDC					●																
Hadoop																					
HAPS														●							
HbbTV	●																				
HomeGrid Forum																	●			●	
IoTSF						●															●
IOWN-GF														●			●				
IPTVFJ	●																			●	
ITS Forum			●																		
JCBI																					

赤字は
2025年度
新規追加団体

黄色塗りは
関連委員会
ゼロの団体

TTC専門委員会との関連(2)

フォーラム名	ICT活用 アプリケーション				プラットフォーム			プロトコル・NW運営管理			アーキテクチャー				トランスポート・ アクセス・エリアNW				
	デバイスマルチア ム	ド・カーネクテ ィ	BSG	IoTスマート	AI活用	セイギュリ ティ	企業ネット	信号制御	網管理	番号計画	Network Vision	3GPP	網マネ ジメント	移動通信	IOWN GF	伝送網・電 磁環境	アクセス網	光ファイバ ネット	IoTHリア
LFDT						●													
LoRa				●														●	
Mplify					●	●										●			
MOBI		●					●												
MSF	●																		
MVJ	●																		
Next G												●				●			
NGMN												●	●	●					
NTNF												●	●						
OAI																			
OASIS						●					●							●	
OCP																			
OGC		●		●														●	
OIF																●			
OMA3		●																	
OMG					●						●								
OpenID							●												
OpenXR	●																		
OpenZR+MSA																	●		
O-RAN					●														
QED-C							●												
TCG		●		●		●													
THREAD																		●	
TIP											●						●		
TM Forum					●	●				●									
TOG					●		●												
UEC																			
VRARA	●																		
VRMC	●																		
WEV																●			
W3C	●							●										●	
Wi-Fi																		●	
Wi-SUN					●													●	
ZETA					●													●	
Z-Wave					●													●	

赤字は
2025年度
新規追加団体

黄色塗りは
関連委員会
ゼロの団体

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	対象フォーラムの見直し 主にBeyond5G/6G、グリーン、量子暗号通信、AI等を中心に新たなフォーラムを調査対象とする 引き続き、企画戦略委員会、専門委員会からの要望は積極的に受け入れる 必要に応じて対象とする分野のカテゴリーの見直しは行う 分析、分類手法の見直し 分析手法、分類手法についても、技術動向を踏まえ、見直しを行なっていく			
	関連する専門委員会または外部組織との内容			
主な活動項目	概況指標	2025年度目標(当初計画時)	2025年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	企画戦略委員会中間報告	企画戦略委員会中間報告(12/22実施)	
	記事投稿、講演会	・フォーラム調査報告書 第32版 ・TTC Report 投稿	以下は4Q実施予定 ・フォーラム調査報告書 第32版 ・TTC Report 投稿	

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	対象フォーラムの見直し 新たなフォーラムを調査対象として追加するとともに、活動収束傾向のフォーラムを調査対象から除外する 引き続き、企画戦略委員会、各専門委員会からの要望は積極的に受け入れる 必要に応じて対象とする分野のカテゴリーの見直しは行う 分析、分類手法の見直し 分析手法、分類手法についても、技術動向を踏まえ、見直しを行なっていく			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> Advabced-5G/6G、量子暗号通信、AI 等 			
関連する専門委員会または外部組織との内容	<ul style="list-style-type: none"> すべての専門委員会から新規調査フォーラムについての提言を受け付ける 調査結果について、企画戦略委員会を通じて、各専門委員会へのフィードバックを行う 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への 参加・連携状況			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS: 回 TR: 回	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	企画戦略委員会報告		
	記事投稿、講演会	・フォーラム調査報告書 第33版 ・TTC Report 投稿		